

※著作権取得済み



障害者が働く企業向け

貸農園小牧に2カ所目

障害者が働く企業向け貸農園施設「わーくはぴねす農園あいち小牧」（小牧市下末）の隣に、二カ所目の農園「あいち小牧第二」が完成し、八日に開園式があった。就労できる人数が倍の百五十人になり、地域の障害者雇用を促進する。

障害者雇用コンサルティング会社「エスプールプラス」（東京都）が市との協定に基づき、二〇二〇年六月に開園。一カ所目は市内外の十六社が利用し、全て埋

軽石の土壌をプラスチックのスコップで整える利用企業の従業員ら＝小牧市下末のわーくはぴねす農園あいち小牧第二で

まっていた。園内にはピニールハウスが並び、障害のある各社の従業員が野菜を作っている。開園式で、同社の和田一紀社長（四七）が「継続して障害のある方の雇用を守っていきたい」とあいさつ。就労者を代表し、中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋の男性（四四）は「第二で働き始めて一カ月。得意な作業も増え、日々新たな発見がある。無農薬の野菜や果物の栽培を通じて社員らの健康を支える役割を担いたい」と話した。

第二は十月から利用が始まり、定員は七十五人。八日現在、三社の十八人が働いている。（水谷元海）